

第44回鳴教大教育・文化フォーラム

保護者や地域と どう関わればよいか



キーワード

青少年問題と社会教育, 地域連携, 保護者対応

いじめ問題, 若者の自立支援, 不登校など, 青少年に関する現代の課題に対して, いかに保護者や地域と連携して取り組めばよいか, 具体的に考えていきたい。特に, 保護者等の関わり方など, 今困難になりつつある現場の実態を主に取り上げる。

日時

平成30年

8/8

水

09:00

12:10

会場

鳴門教育大学 講堂

サテライト会場(遠隔講義)

- つながルーム阿南(阿南市立大野小学校多目的教室)
- つながルーム美馬(美馬市役所北館内会議室)

対象

現職教職員,
学生及び一般市民参加費無料
(事前申込み不要)

参加費
無料

プログラム

09:00 受付

09:30 開会

挨拶 山下 一夫(鳴門教育大学長)
安田 修(鳴門市教育委員会 教育長)

09:50 基調講演

「保護者との関わりを考える
—教育相談及び臨床心理学の視点から—」

講師 吉井 健治(鳴門教育大学 教授)

10:30 休憩

10:40 シンポジウム

「学校は, 保護者や地域と
いかに連携すべきか
—今困難になりつつある現場の実態から考える—」

登壇者 植田 恭子(都留文科大学 非常勤講師
前大阪市立中学校 指導教諭)

板東 郁美(鳴門市立堀江北小学校 教頭)

コーディネート・助言 吉井 健治((助言)鳴門教育大学 教授)

阪根 健二(鳴門教育大学 教授)

12:00 閉会

挨拶 佐古 秀一(鳴門教育大学 理事・副学長)

保護者や地域と どう関わればよいか

申込み
不要

今回の基調講演では、吉井教授から、教育相談や臨床心理学の立場から、保護者や地域とどう関わればよいか、どうスムーズに対応すればよいか、その背景や対応策(具体的な言動)について紹介する。

それを受け、シンポでは、大阪の中学校で、様々な問題などに対処し、増加する若手教員などへ指導を行ってきた植田前指導教諭から、教師の在り方について話してもらう。その上で、鳴門市教育委員会から、教師がどう対応して欲しいか、また行政ができる支援などを語る。そして、助言として、基調講演の吉井教授及びコーディネートの阪根教授がその対策などをまとめる。

※実施に当たり、安全上及び公衆衛生上の適切な措置を講じるものとする。



〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748



〒774-0047 阿南市下大野町三条5



〒777-8577 美馬市穴吹町穴吹字九反地5番地

主催

国立大学法人鳴門教育大学

共催・協力

鳴門市教育委員会,
阿南市教育委員会, 美馬市教育委員会

後援

徳島県教育委員会, 徳島県国公立幼稚園長会,
徳島県小学校長会, 徳島県中学校長会,
徳島県高等学校長協会, 徳島新聞社,
四国放送株式会社, NHK徳島放送局

お問い合わせ

鳴門教育大学教務企画部社会連携課地域連携係

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地

TEL: 088-687-6101 FAX: 088-687-6100

URL: <http://www.naruto-u.ac.jp/research/04/003.html>